



# 大樹のこころ

## 熱中症対策

暑い日が続きます。6月とは、とても思えないほどの暑さ。学校全体が茹で上がっている状態です。子供たちの健康安全を守るために、保健室の教諭が熱中症チェッカーを使って、暑さ指数を時間ごとに測定していきます。WBGT が31℃を超えると、原則屋外での運動は禁止。今週はこの暑さ指数が、危険な状態が続いています。保護者の皆様も、学校での生活が心配なのではないでしょうか。そこで本校が行っている熱中症対策を紹介したいと思います。



登下校時には日傘登校を許可しています。暑さをしのげる上に、ソーシャルディスタンスを確保することもできます。マスクの着用については自由としていますが、現在は登下校時には外すように指導をしています。屋内での体育の授業は行っています。直射日光は当たらないものの暑いことには変わりはありません。ですから水筒持参で授業を行い、給水タイムを設けています。また体育館に巨大扇風機を設置して風を送っています。水泳の授業で心配なのが見学者です。プールサイドにテントを立てて見学するようにしています。また扇風機を使って見学者に風が当たるようにしています。



教室にはエアコンが設置されているので適温が維持されているので、授業時間は安心です。問題は、放課の時間です。今週は運動場での遊びは禁止としていました。そうすると子供たちは、放課の時間を持て余してしまいます。そこでタブレット端末を使って学習アプリで遊ぶことを許可しています。子供たちは、思い思いのアプリを使って学びながら遊んでいます。また NHK の学習番組の視聴も行っています。低学年の子は、テレビ画面にくぎ付けとなっています。さらにカードゲームでの遊びも認めています。校内を巡視して様子を見ると、室内なら室内なりに、子供たちは楽しんでいるようです。



夏休みまで、3週間ほど。暑さが和らぐことを祈りながら、子供たちの安全のために、できる限りの配慮をしていきたいと思っています。

6月30日(木)の14時30分ごろ、学校に地域の方から次のような電話が学校に入りました。「スギ薬局とアンティークの交差点で1年生の子供たちが、きちんと日傘をさして気持ちのよい挨拶をしてくれて、学校の様子などを楽しく話してくれました。とても感動しました。学校の指導がとて行き届いていて素晴らしいと思います」。

すごく嬉しい電話でした。勇気をもらうことができました。ありがとうございます。